

# 2歳頃の むし歯予防について



袖ヶ浦市役所 健康推進課  
歯科衛生士

## 2歳頃はどのくらい歯が生えているのかな？



2歳頃になると歯は16本から20本生えてきます。  
2歳6か月から3歳頃で20本生えそろいます。  
ただ、歯が生え始める時期や、歯の生えるスピードは、個人差があります。

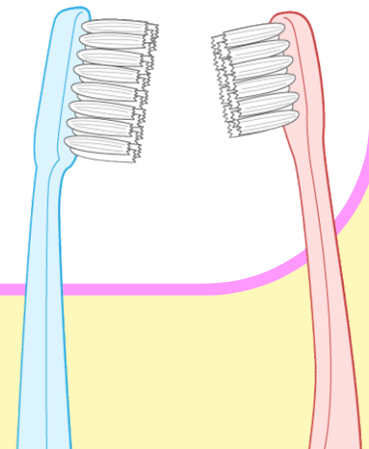
**大切なことは  
歯の萌出状況に合わせたケアを行っていくこと**

# 歯ブラシはお子さん用と仕上げ用の2本必要です

Q.なぜ2本必要なの？

A. **お子さん用の歯ブラシ**は、汚れを落とすためではなく、  
お子さんが歯ブラシの感触に慣れたり、歯みがきを練習するために  
毛の硬さがやわらかく、お子さんがにぎりやすいように  
作られています。

**仕上げ用歯ブラシ**は、汚れを落とすことを目的に、  
汚れが落としやすいような毛の硬さ、ネックの長さなど  
仕上げみがきに適した形で作られています。



# 仕上げみがき用歯ブラシとお子さん用歯ブラシ

仕上げみがき用歯ブラシ

毛の硬さ



お子さん用歯ブラシ

ネック

ネックの長さ



それぞれ適した形で  
作られています😊

持ちやすさ



# お子さんの自分みがき

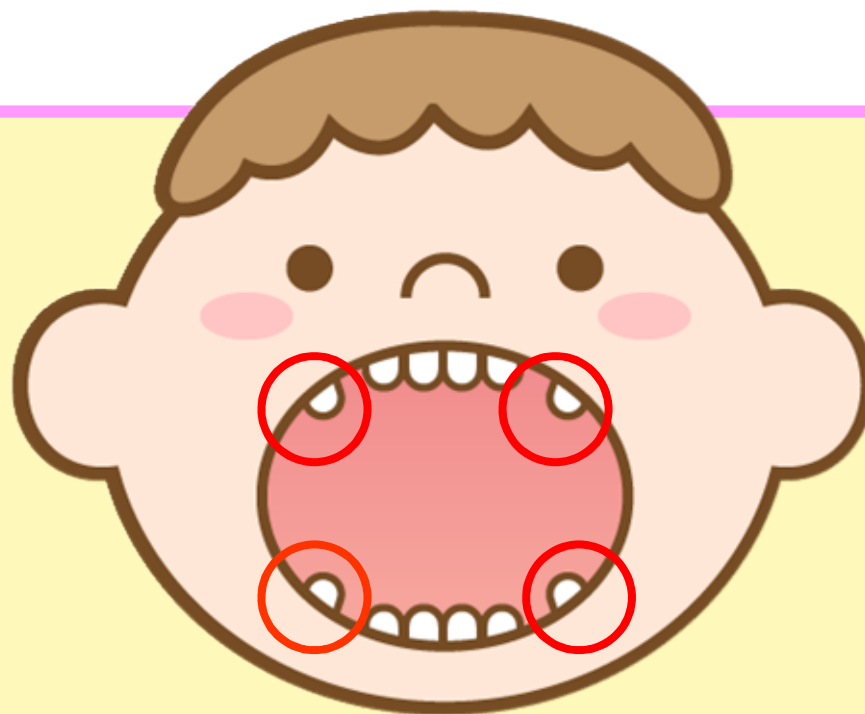
この時期はお子さんが自分一人で上手にみがくことはできませんが、口に入れているだけでも自分で歯みがきさせることが大切です。  
お子さんが自分でみがいている間は見守ってあげてください。  
終わったらたくさんほめてあげましょう。

※歯ブラシを口に入れたまま歩くと危険です。  
歯みがきはイスに座ったり、おうちの方が抱いた状態で行い、  
歯ブラシを持たせたら目を離さないようにしましょう。



# 仕上げみがきの習慣をつけていきましょう

1歳6か月頃になると、犬歯をとばして、奥歯が生えてきます。  
奥歯は大きく、噛む面に溝がある歯なので、  
汚れが溜まりやすく、一度ついた汚れは自然にはとれません。  
そのため毎日の仕上げみがきの習慣が大切です。

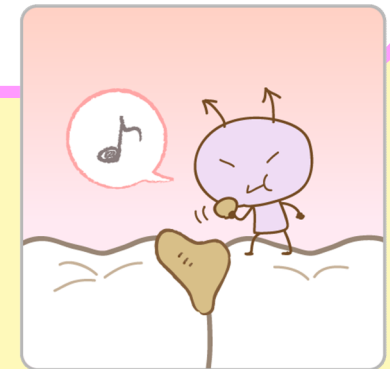


# 仕上げみがきの習慣をつけていきましょう

夜寝る前の仕上げみがきの習慣をつけていきましょう!

寝ている間は唾液の量が減り、むし歯菌の活動が活発になっています。寝ている間に汚れが残ったままになっていると、むし歯になってしまいます。

夜寝る前の仕上げみがきに慣れてきたら、食後やお昼寝の前もなるべくみがくようにしましょう❀



# 「とりもどしみがき」を知っていますか？

夜寝る前の仕上げみがきはとても大切です。  
しかし歯みがきをする前にお子さんが寝てしまった・・・。  
そんな日もあると思います。歯みがきのために起こして無理してみ  
がくと大変ですよね。  
そんなときは朝起きたら、「とりもどしみがき」をしましょう😊

※「とりもどしみがき」とは、  
歯みがきをしないで寝てしまった次の日の朝、  
いつもより丁寧にみがいてしっかり汚れを落とすことです。



# 歯みがきを楽しい時間に！

歯みがきを楽しい時間にするために工夫をしてみましょう❀

- ・おうちの方が歯みがきをするときにも楽しそうに
- ・歯みがきに関連した絵本などを読む
- ・音楽や動画を流しながら
- ・自前の歯みがきソングを歌いながら
- ・歯みがきができたご褒美にカレンダーにシールを貼る
- ・おうちの方と歯みがきをやりあっこする
- ・歯みがきができたらたくさん褒める
- ・歯ブラシをお子さんの好きなキャラクターやデザインに変える
- ・機嫌のいい時間を選ぶ
- ・数を数えながら歯みがきの終わりがわかるようにする など



**楽しい雰囲気です歯みがきをするのが大切です😊**

## それでも歯みがきを嫌がる場合には・・・

だんだんと「イヤイヤ」「自分で!」「自分が!」と主張し、うまいかずにかんしゃくをおこすことが増えていきます。これは**自我が芽生え、素晴らしいことです。**

しかし「嫌がるから」、「自分でやりたがるから」といって仕上げみがきをしないと、むし歯になってしまいます。実はこのイヤイヤ時期は、奥歯が生えてきたり、むし歯になりやすい時期です。

**嫌がって泣いてしまっても、固定して、しっかり仕上げみがきをしてあげてください。**



**今は仕上げみがきが大変な時期ですが、イヤイヤ時期は3歳頃になるとだんだんと落ち着いてきます。**



## 2歳頃のお子さんの 仕上げみがきで気を付けるポイント①

①上の前歯・・・とくに歯と歯肉の境目をよくみがきましょう

⇒上の前歯は、汚れや食べかすを流してくれる唾液が届きにくく、むし歯ができやすい場所です。



## 2歳頃のお子さんの 仕上げみがきで気を付けるポイント②

### ②奥歯の噛む面をよくみがきましょう

⇒奥歯は噛む面にみぞがあります。汚れが溜まりやすいので意識してみがいてみてください。

奥が見えにくい時には、歯ブラシを持つ手と反対の手の人差し指をほっぺの内側から持ち上げるようにすると、よく見えるようになります。

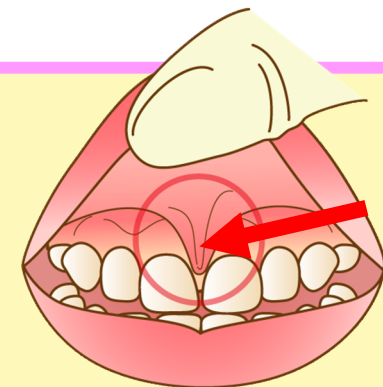


## 2歳頃のお子さんの 仕上げみがきで気を付けるポイント③

### 上唇小帯をガードしてみがきましょう

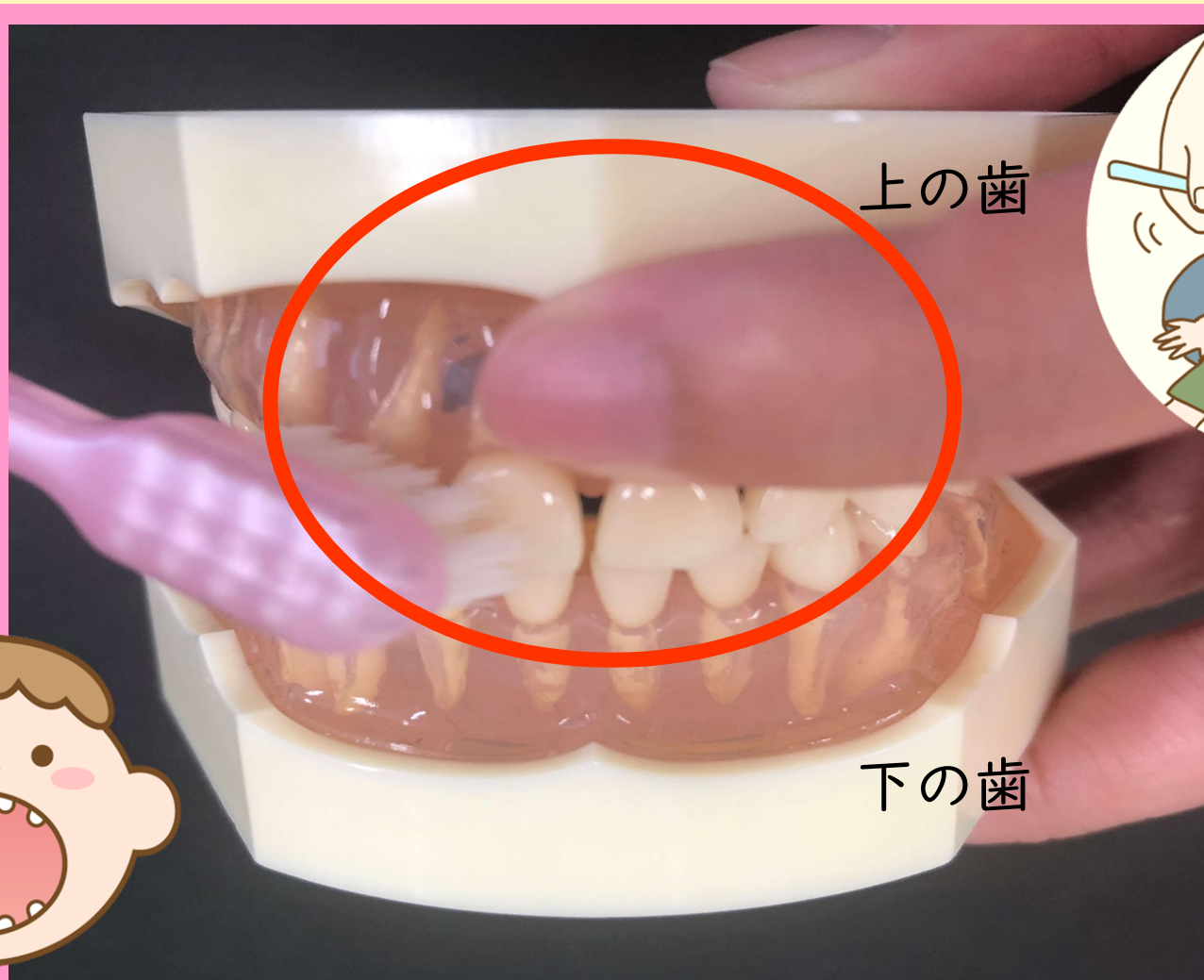
⇒ 上唇小帯とは上唇をめくり、上の前歯のちょうど真ん中にあるヒダのことです。上唇小帯はとても過敏なところで、歯ブラシが当たってしまうと痛がります。

歯ブラシを持つ手と反対の手の人差し指で、お子さんの上唇小帯をガードしながらみがきましょう。

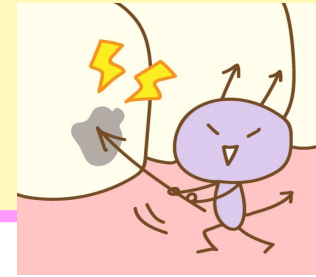


上唇小帯

歯ブラシを持つ手と反対の手の人差し指で上唇小帯をガード



# むし歯菌は感染します



むし歯菌は周りの大人から感染します。  
この時期に感染するむし歯菌の量が、「この先のむし歯になりにくさ」につながります。

## ★お子さんに感染するむし歯菌を減らすためにできること

- ①まわりの大人の方のむし歯を治療したり、  
定期検診を受診してお口の中をきれいにしておくこと
- ②まわりの大人の方も毎日ていねいに歯磨きをすること
- ③口移しやお子さんと同じ箸、コップの共有を避けること

感染が心配だからといって、スキンシップを控える必要はありません。  
上記のことをできるだけ気を付けて  
可愛いお子さんとたくさんスキンシップをとってあげてくださいね。

# 夜間授乳について

だんだん夜間の授乳がなくなってきました。  
夜間授乳がある場合には、していない場合に比べ、  
むし歯のリスクが高くなります。

無理してやめる必要はありませんが、  
その分しっかり歯みがきをしてむし歯予防することが必要です。  
夜寝る前はもちろん、朝と日中の仕上げみがきも大切です😊





# 甘いおやつ・ジュースが習慣にならないようにしましょう

お子さんも甘いおやつやジュースなどのおいしいものはすぐに覚えてクセになりがちです。アメやチョコなど**甘いおやつはなるべく食べさせないように**してください。

甘いおやつをだらだら食べる習慣もむし歯になりやすいので**おやつは時間と量を決めましょう**😊

また、ジュースやイオン飲料、乳酸菌飲料はむし歯になりやすいので注意が必要です。

**ふだんの水分補給は水や麦茶**などにしましょう。



# フッ素を上手に利用しましょう

フッ素にはむし歯予防の効果があります❀

- ① 歯のエナメル質と結合して歯を強くする
- ② むし歯菌の活動を抑えるため、歯を溶かす酸ができにくい
- ③ 溶けだした歯を元に戻す再石灰化をする



## フッ素塗布



歯科医院で  
フッ素を塗ってもらう方法  
です。

## フッ化物洗口



4歳を過ぎて、ぶくぶくうが  
いができるようになったら  
フッ化物洗口剤でうがいを  
する方法です。  
(薬局や歯科医院で販売)

# フッ素配合歯磨き剤

フッ素配合歯磨剤は年齢によってつける量が決まっています。歯が生えてから2歳頃までは、米粒程度の量にしましょう。

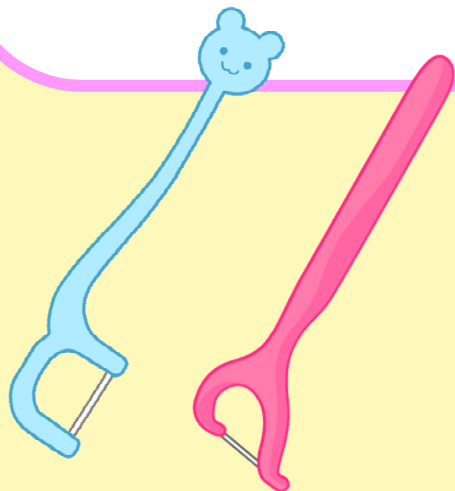
またブクブクうがいができるようになるまでは、ジェル状（フッ素濃度が900~1000ppm）、泡状、液状のものをお勧めします。

米粒程度の量



# デンタルフロスを使ってみましょう❀

デンタルフロスは歯と歯の間を掃除するためのものです。  
歯と歯の間が狭いと、気づかないうちに歯の間からむし歯になることがあります。  
お子さん用の小さいデンタルフロスもあります。



# デンタルフロスの使い方❀

- ①歯と歯の間にデンタルフロスをのこぎりを使うようにスライドさせて挿入します。
- ②左右両方の歯をゆっくり前後に優しくこすります。
- ③歯と歯の間からスライドさせながら抜きます。

力を入れすぎないように注意しましょう。





# ぶくぶくうがいの練習を始めてみましょう❀

2歳頃から練習すると、ブクブクうがいができるようになってきます。  
最初は上手にできないので、**お風呂など濡れてもいい場所**で  
おうちの方がお手本を見せてマネすることから始めてみましょう😊

- ①まずは一連の流れを見せてあげてください。
- ②コップから水を口に含んですぐに吐き出すことをマネさせます。
- ③口に水を含んで溜めることを練習します。
- ④口の中の水を動かしてブクブクの練習をします。



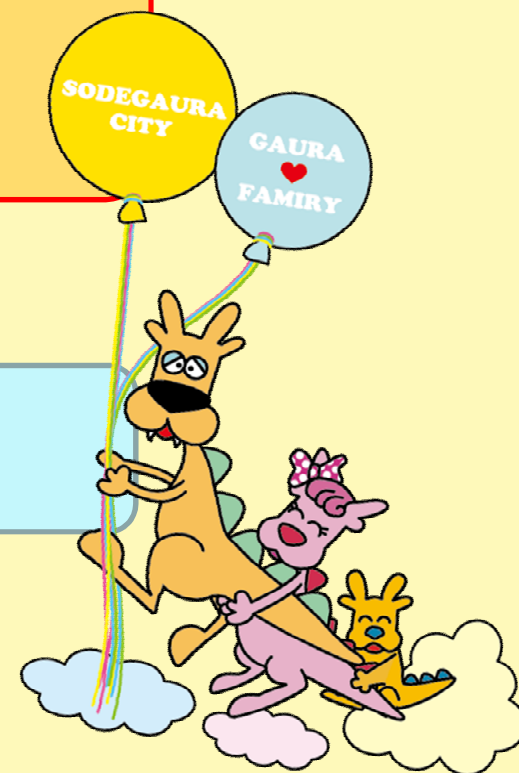
# 袖ヶ浦市では3回の健診を行っています

【1歳6か月児健康診査】 内科診察・歯科診察

【2歳児歯科健康診査】 歯科診察

※1歳6か月から3歳の間におし歯が増えやすいため、袖ヶ浦市では独自に2歳児歯科健康診査を実施しています。

【3歳児健康診査】 内科診察・歯科診察



# お口がポカンとあいていませんか？

❀ 正しい呼吸は上下の唇が閉じて鼻で呼吸をしています ❀

この時の舌は上あごにくっついて、  
舌の先は上の前歯のすぐ後ろに触れています。

ポカン<sup>ぐち</sup>口は？

口を使って呼吸しているので口の中は乾きやすくなり、むし歯になりやすくなります。

空気中の雑菌が口から入り込みやすく、  
のどがうるおいを失って細菌やウイルスがのどにつくため、  
風邪などの感染症をおこしやすくなります。

# ぐち ポカン口は歯並びにも影響します

ぐち  
ポカン口だと悪い舌の癖がついてしまいます  
舌が唇よりも前に出る舌突出の癖や、  
舌が下に落ちてしまう舌低位を引き起こします。



- ・**歯並び**: 出っ歯（上顎前突）、開口、受け口（反対咬合）
- ・**発音** : 発音を悪くし、訓練をしないと大人になっても、その発音が残ってしまいます。

# なぜポ<sup>ぐち</sup>カンロになってしまうのかな？

- ①鼻が詰まっている
- ②唇の周りの筋肉の力が弱い
- ③舌の悪い癖で前歯を押し出してしまっている
- ④指しゃぶりが長く続いて歯並びを悪くしてしまっている



## どうしたらいいの？

- ①鼻が詰まっている子は口での呼吸になってしまうので鼻の治療をする
- ②口のまわりや舌を使う訓練をする
- ③舌を上あごにくっつけたまま、1・2・3・4・5秒そのまま止める
- ④お水を口に含んで、唇を閉じたブクブクうがいを毎日お風呂などで練習する

最後まで見てくださって  
ありがとうございました❀

いつまでも健康な歯でいられるように  
家族みんなでおし歯予防していきましょう😊

